

# 建設に着手

建設事業費に11億3,156万円計上

## 子育て支援に重点



# 新保育施設

2保育所を統合、令和2年4月に開所

## 移住定住促進や



新年度  
予算を  
可決

### 3月定例会の あらまし

3月定例会は3月5日から19日までの15日間を会期に開かれました。初日の本会議では行政報告、町政執行方針、教育行政執行方針が示され、新年度予算と関連条例、補正予算の提案がありました。新年度予算と関連条例については平成31年度予算審査特別委員会（桜井崇裕委員長）を設置し、3月13日から15日の3日間で審査を行いました。3月11日と12日の2日間で行われた一般質問では7人の議員が登壇し、行政課題などについて質問をしました。最終日の3月19日は、予算審査特別委員会の審査報告、条例、補正予算、町道の路線廃止・認定、人事案件、意見書について審議しました。今定例会で提案された議案は、すべて原案のとおり可決しました。

新年度の予算総額は  
135億9380万円

成31年度の一般会計と3特別会計及び2企業会計を合わせた当初予算総額は135億9380万円（前年度比3・6%増）となりました。

このうち一般会計予算額は、99億7000万円の前年度比5億6000万円（6・0%）の増となりました。

増額の主な要因は、平成28年の台風10号災害で課題となっていた防災行政無線の更新、老朽化が

進んでいた第一保育所と第二保育所を統合する新しい保育施設の建設（将来的には幼稚園も統合）、ごみ処理の広域化に伴う十勝圏複合事務組合への加入時分負担金、清掃センターのリサイクル施設への転換、文化センターの大規模改修、共栄橋の災害復旧、交通弱者の移動を支援する地域公共交通確保事業などが挙げられます。

※詳細は広報しみず4月号に掲載されています。

### ここにも注目！ 新年度予算

防災行政無線  
全世界帯に受信機を  
無償貸与  
3億8790万円

老朽化に加え大雨時に情報が聞き取りにくい状況もあり、防災行政無線を更新します。室内にいても避難情報などが確実に伝わるよう戸別受信機が全世界帯に無償で貸与されます。

賃貸住宅を建設する方  
リフォームする方へ  
費用の一部を助成  
計1400万円

本町は単身者用の賃貸住宅に比べ、世帯向けの賃貸住宅が少なく、公営住宅は所得制限や保証人2人（うち1人は清水町民）が必要のため移住者が入居しにくい現状があります。世帯向け賃貸住宅の建設を促し、移住者の増加

と定住を目指し、オーナーへ建設費用、リフォーム費用の一部を助成します。

清水赤十字病院の  
運営費を助成  
1億円

清水赤十字病院の不採算部門運営費等について、新年度も継続して助成します。

消防団員の  
活動服を更新  
192万円

消防団員服制基準の改正で活動服の様子が変わったことに伴い、清水・御影両消防団員の活動服83着（全員分）を更新します。

小中学校の保健室に  
エアコンを整備  
190万円

猛暑による体調不良などを考慮し、全小中学校の保健室にエアコンが設置されます。



保育施設 完成イメージ



子育てサポート、出産祝金、不妊・不育症治療費助成など、子育てに関連する支援事業も拡充されました

### 賛成討論（要約）

鈴木孝寿 議員

平成31年度一般会計予算に対する  
保育施設建設工事は、稼働に向けてしっかりとソフト面の充実を図っていただきたい。防災行政無線更新事業は、町民の安心安全につながる大きなアイテムになるが、引き続き防災・減災に向けて取り組んでいただきたい。政策予算全般に人口減少対策が念頭に置かれ、新しい事業の展開が見られることは非常に望ましい。政策課題に対するアプローチの方法に大きな差異はあるものの、目的とする未来のかたちに相違点は少ない。職員が前向きに安心して仕事ができる環境を構築していただくことを強く申し入れ、賛成する。